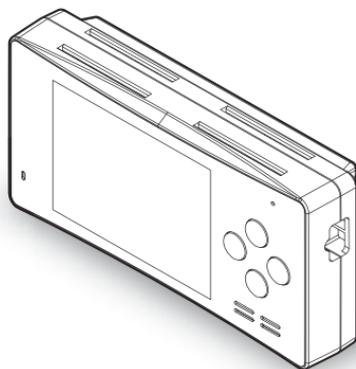
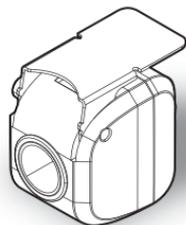


ドライブレコーダー DC-DR430

取付説明書／取扱説明書／保証書



お買い上げ時の設定では、起動時液晶ディスプレイの表示を常に行います。ただし、10km/h以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切り替わります。また停車後は【メニュー / 戻る】を押すことで再表示を行います。(⇒ P54)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることができる所に保管してください。なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

⚠ 注意

エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜き差しを行ってください。



microSDHC カード
アクセスランプ

👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。

目次

目次	2	映像を見る	37
はじめに	3	本体で映像を再生する	37
安全上のご注意	3	ナビゲーションで映像を再生する	38
ご使用上のお願い	6	パソコンで映像を再生する	39
知っておきたいこと	8	パソコンで録画データを保存 / 削除する	42
新しいmicroSDHCカードを使用する場合について	9	地図表示について	44
microSDHCカードの取り出し方について	10	保存ファイルを開く	45
梱包内容	11	映像を180°反転する	46
本体各部名称	12	録画データを修復する	46
カメラユニット各部名称	13	設定を変更する	47
別売オプション	13	パスワードを設定する	48
映像の記録について	14	ファームウェアを更新する	48
取付方法	18	設定	49
取付けを行う前に	18	設定方法	49
取付手順を確認する	19	設定内容一覧	50
電源コードを接続する	20	付録	58
カメラユニットの取付位置を確認する	22	駐車監視モード中の動作について	58
カメラユニットを取付ける	23	よくあるご質問	60
GPSユニットを取付ける	26	LEDランプ確認表	62
本体を取付ける	27	エラー確認表	63
日時を設定する	30	製品仕様	64
動作を確認する	31	保証規定	66
基本操作	34	DC-DR430 保証書	裏面
電源をONにする	34		
電源をOFFにする	34		
リセットスイッチについて	34		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分して、説明しています。

⚠ 危険 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

⚠ 警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

⚠ 注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。

⚠ 警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

はじめに

⚠ 警告	
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	microSDHC カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
⚠ 注意	
	本製品内に結露が生じたままご使用いただくと故障や発熱などの原因となります。結露したままご使用にならないでください。
	本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。 ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。 ・湿度が高い所やほこりの多い所。
	microSDHC カードを本製品に差込む場合、差込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。 ・本体を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。 ・長期間使用しなかった場合。 ・消耗した内蔵バッテリーを使用し続けた場合。

内蔵リチウムイオン電池について

本製品の内蔵バッテリーにはリチウムイオン電池を使用しています。下記内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠ 危険	
	分解したり、改造しないでください。リチウムイオン電池には危険を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、リチウムイオン電池が発熱、破裂、発火の原因になります。
	ストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
	火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因になります。
	水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウムイオン電池に組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
	釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
	高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形したり、リチウムイオン電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
	液漏れして目に入った場合は失明の恐れがありますので擦らずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。
⚠ 警告	
	指定の電圧以外で使用しないでください。高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
	電子レンジや高圧容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
	電池が漏液したり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。
	リチウムイオン電池は消耗品です。充電してもバックアップ機能が働かなかつたりした場合は寿命が考えられますのでご使用をおやめください。発熱、発火、破裂、漏液の原因となります。交換する際は弊社サービスセンターまで送付ください。

はじめに

⚠ 注意	
	濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。
	濡れた手でリチウムイオン電池を触らないでください。感電の原因となります。
	通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が上がり、低温やけどの原因となります。
	リチウムイオン電池を直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車内など、高い温度になる場所で充電しないでください。(充電温度範囲：0℃～+45℃) 高温になると危険を防止するための保護機構が動き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。
	液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、怪我の原因となるため直ちに水で洗い流してください。また、機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

ご使用上のお願ひ

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品をイタズラなどの目的で使用しないでください。個人情報保護法に抵触する恐れがあります。また使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- microSDHC カードを抜く時は必ず、車両キースイッチ OFF 後 **microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯**したことを確認してから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- 駐車監視モード使用での車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、付属のビューソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。その際は弊社ホームページより最新版のビューソフトをダウンロードしてご使用ください。
- 本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
(ただし microSDHC カード、内蔵バッテリー、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品は DC12V/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていないか、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

知っておきたいこと

● 液晶ディスプレイについて

- ・液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
※上記の状態ではディスプレイが表示されていない場合でも、その他の機能は正常に動作しています。

● microSDHC カードについて

- ・付属の microSDHC カードは本機専用です。
- ・本機を使用するときは、microSDHC カードが必要です。
- ・microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度使用する場合で約 2～3 年を目安に交換することをお勧めします。また駐車監視モードを使用するなど、使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。
※寿命となった microSDHC カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・安定してご使用いただくため、定期的に microSDHC カードをパソコンでフォーマット、または本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- ・microSDHC カードをフォーマットすると専用ビューソフトおよび記録されたデータがすべて消去されます。その際は本製品で microSDHC カードを初期化することで、自動でカード内にビューソフトを生成します。(⇒ P57)
- ・本製品で microSDHC カードの初期化を行うと本機専用フォーマットとなるため、パソコンなどで確認すると microSDHC カードの容量表示が実際より少く表示されます。
- ・本製品使用時は付属の microSDHC カードを使用してください。付属品以外の microSDHC カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 衛星受信までの時間について

本製品は「最速 GPS 測位」機能により、起動後すばやく GPS 衛星を測位する事ができます。ただし以下のような場合、「最速 GPS 測位」は機能しません。

- ・ 初回起動時。
- ・ 前回電源 OFF 後 72 時間以上経過した場合。
- ・ 前回電源 OFF 後、直線距離で 300km 以上離れた場所で電源を ON にした場合。
- ・ 前回電源 OFF した時と、次に電源 ON した時の GPS 衛星の状態が異なる場合。
- ・ GPS ユニットのコネクタを本体から外した場合。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビなどで UHF56 チャンネルを受信（設定）している時やナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

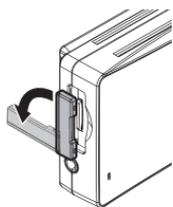
新しい microSDHC カードを使用する場合について

- ・ 新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを使用する際は必ず、本体の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P57)
- ・ パソコンで microSDHC カードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。
URL : <https://www.sdcard.org/jp/>
※フォーマットをすると、microSDHC カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。
- ・ 専用ビューワソフトは弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードを行うこともできます。

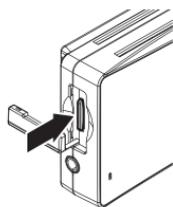
はじめに

microSDHC カードの取り出し方について

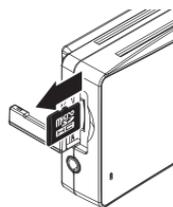
microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出てきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出てきたら引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

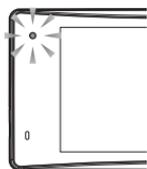
エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ(橙)が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜き差しを行ってください。



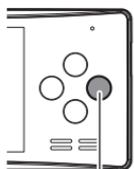
microSDHC カード
アクセスランプ

駐車監視モード作動中の場合

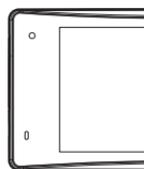
駐車監視モード作動中の場合、電源を OFF にしても本体は動作しています。そのため microSDHC カードを抜く際は必ず、【OK】スイッチを押して駐車監視モードを停止したあと microSDHC カードを抜いてください。



駐車監視モード作動中
(LED3 回点滅の繰り返し)



OK スイッチを押す

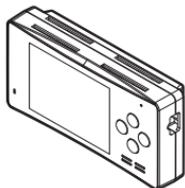
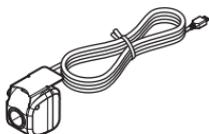


駐車監視モード停止
(LED 消灯)

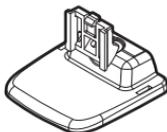
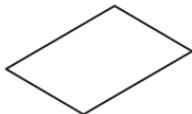
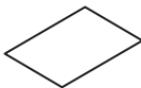
※ 駐車監視モードの作動状態は、カメラユニット下部の LED (作動中は LED が赤点滅) でも確認することができます。

梱包内容

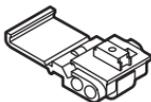
DC-DR430 本体

カメラユニット
(ケーブル長: 約 4.0m)GPS ユニット
(ケーブル長: 約 2.0m)

付属品

電源コード
(約 2.0m/1A ヒューズ内蔵)本体取付ステー
(1 個)六角レンチ (ステー角度調整用)
(2.5mm/1 個)脱脂クリーナー
(1 枚)コネクタカバー
(1 枚)microSDHC カード
(8GB/1 枚)

※microSDHCカードは
出荷時本体にセットされて
います。

SD カード変換アダプター
(1 枚)本体取付ステー固定用
両面テープ (黒)
(40 × 35mm/1 枚)本体固定用
面ファスナー
(50×40mm/1 枚)カメラユニット固定用
両面テープ (透明)
(18×29mm/1 枚)GPS ユニット固定用
両面テープ (黒)
(18×18mm/1 枚)クッションテープ
(180×128mm/1 枚)エレクトロタップ (2 個)
(0.3sq ~ 1.25sq 用)

コードクランプ (3 個)

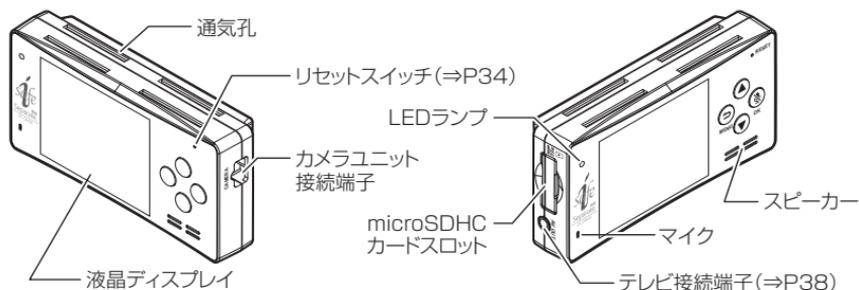


取扱説明書 (本書/1 冊)



はじめに

本体各部名称

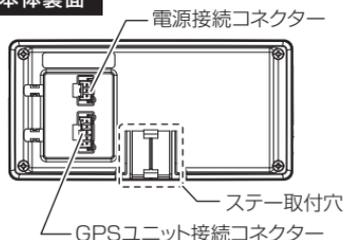


操作スイッチ部



※液晶上下反転設定を【反転】に設定すると
【アップ】【ダウン】スイッチの操作も反転します。

本体裏面



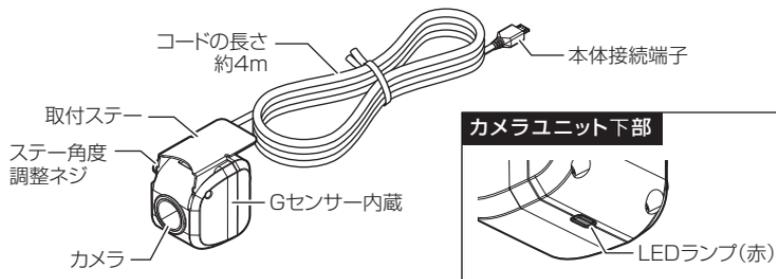
⚠ 注意

- ・付属品以外の microSDHC カードを使用する際は必ず本体の設定メニューから初期化(⇒P57)を行なってください。
- ・microSDHC カードと内蔵バッテリーは消耗品であり、約2～3年を目安に交換することをお勧めします。
- ・microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・使用状況により内蔵バッテリーの寿命は短くなることがあります。
- ・付属品以外の microSDHC カードの動作保証は致しかねます。
- ・本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

👉 アドバイス

- ・録画中に【OK】スイッチを押すことで、録音設定のON/OFFを一時的に切替えることができます。
- ・【OK】スイッチ操作により設定を切替えたあと、再起動やメインメニューに入る、緊急録画停止機能が作動するなどの場合、【録音設定】(⇒P51)で選択した設定に戻ります。

カメラユニット各部名称



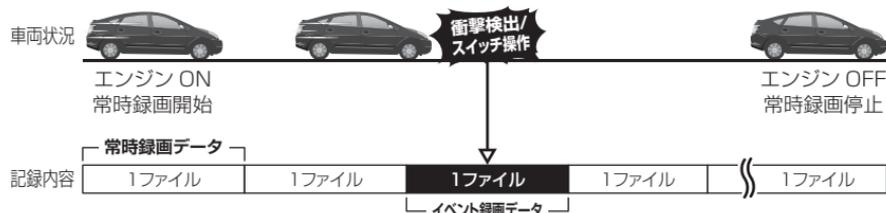
別売オプション

品名	使用目的	品番
AV ケーブル	本製品をナビゲーションなどで再生するためのケーブルです。	998003-0160

はじめに

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

👉 アドバイス

- ・お買い上げ時の設定では、microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。(⇒ P52)
- ・本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、エラーを解除してください。
- ・本製品は内蔵バッテリーにより、重大な事故などで電源が遮断された場合でも記録中の録画データの破損を防ぎ保存を行う、バックアップ機能を搭載しています。

常時録画について

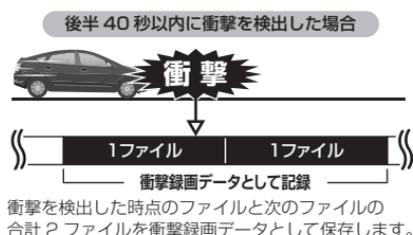
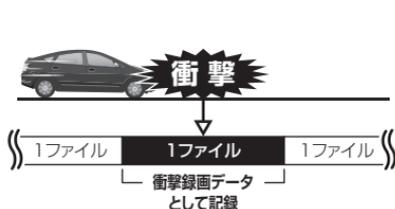
- ・エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした後からエンジンを OFF (車両キースイッチを OFF) にするまでを、常時録画データとして microSDHC カードに自動で記録を続けます。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

イベント録画について

- ・ イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、またスイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』の2種類があります。
- ・ お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P52)

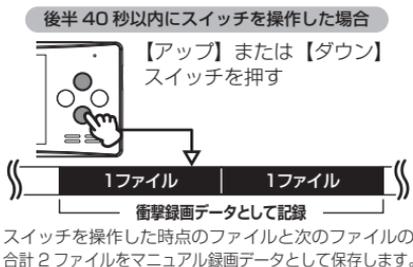
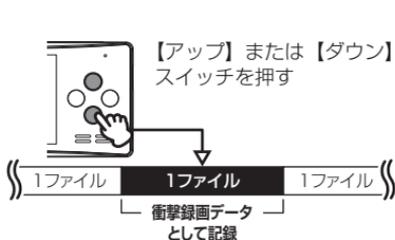
■衝撃録画データ

- ・ カメラユニット内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ ただし1ファイルの前半20秒以内または後半40秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『衝撃録画データ』として記録されます。
- ・ Gセンサーの感度は設定により前後・左右・上下それぞれ0.1G単位で感度調整することができます。(⇒ P52)



■マニュアル録画データ

- ・ 本製品の【アップ】または【ダウン】スイッチを押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・ ただし1ファイルの前半20秒以内または後半40秒以内に、スイッチを操作した場合、前もしくは後のデータも『マニュアル録画データ』として記録されます。



はじめに

microSDHC カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSDHC カードの容量、録画サイズ設定、フレームレート設定により変動します。下記表を参考にしてください。（下記表は常時録画およびイベント録画を含めた値です）

※ 対応 microSDHC カード：4GB～32GB（class10 以上推奨）

※ 本製品付属 microSDHC カード：8GB（class10）

録画サイズ	フレームレート	microSDHC カード容量				(参考) 1 ファイルの 記録時間
		4GB	8GB	16GB	32GB	
HD	30fps	約 30 分	約 60 分	約 120 分	約 240 分	約 1 分
	20fps	約 45 分	約 90 分	約 180 分	約 360 分	約 1 分 30 秒
	10fps	約 90 分	約 180 分	約 360 分	約 750 分	約 3 分 10 秒
	5fps (駐車監視モード)	約 170 分	約 340 分	約 680 分	約 1360 分	約 6 分
SD	30fps	約 90 分	約 180 分	約 360 分	約 750 分	約 3 分 10 秒
	20fps	約 130 分	約 280 分	約 580 分	約 1150 分	約 4 分 50 秒
	10fps	約 250 分	約 540 分	約 1080 分	約 2130 分	約 9 分
	5fps (駐車監視モード)	約 420 分	約 840 分	約 1680 分	約 3360 分	約 15 分
録画件数		約 28 件	約 56 件	約 112 件	約 224 件	—
(うちイベント録画件数)		(約 5 件)	(約 11 件)	(約 22 件)	(約 44 件)	—

※ 太枠は付属 microSDHC カードを示します。

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【HD】、フレームレートが【20fps】に設定されています。

※ 上記の記録時間はあくまで参考値です。映像の明暗により記録時間は異なります。

※ 途中で録画サイズ設定、フレームレート設定を変更して録画した場合は、この限りではありません。

※ イベント録画件数は常時録画領域の割合が 80%（初期設定）での参考値です。

※ 市販の microSDHC カードを使用する場合は、必ず本体で動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 使用する microSDHC カードによっては上記録画件数と異なる場合があります。

録画領域について

- ・初期設定では microSDHC カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画(衝撃録画 / マニュアル録画)の領域として設定されています。
- ・設定により常時録画のデータ保存容量の割合を [20%～ 85%] の間を 5% 単位で変更することができます。(⇒ P52)
- ・録画領域の設定を変更すると、イベント録画の保存容量の割合も連動して変更されます。



- ※ 衝撃録画 / マニュアル録画データがない場合は 100%常時録画を記録します。
- ※ 駐車監視モード中の常時録画および衝撃録画データも、通常の常時録画および衝撃録画データに含まれます。
- ※ 使用中に録画領域を変更すると、変更前に記録されたすべての録画データが常時録画データに切替わります。

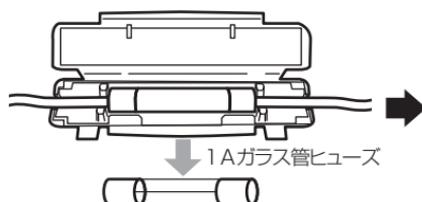
取付方法

取付けを行う前に

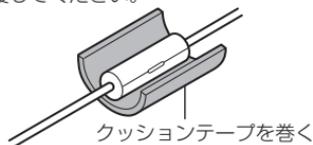
安全に取付けるため、下記の点に注意し、本製品の取付けを行なってください。

ヒューズ交換方法

付属電源コードのヒューズホルダーのキャップを開け、同じ容量、サイズガラス管ヒューズ(1A)と交換してください。また、初回取付け時やヒューズを交換した後は、必ず付属のクッションテープや市販の絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



初回取付け時またはヒューズ交換後、クッションテープでヒューズホルダーを保護してください。



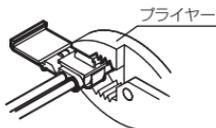
エレクトロタップを使った接続方法

本製品付属のエレクトロタップの適用電線径は 0.3sq ~ 1.25sq です。付属のエレクトロタップを使用し接続する際は、必ず線径に合った車両ハーネスへ接続してください。線径が合わない場合、ハーネスの半嵌合や断線のおそれがあり、接続不良の原因となります。

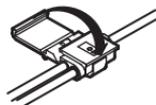
1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードの ACC 電源線および常時電源線は差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。



2) プライヤー等で金属端子を完全に押し込みます。



3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。



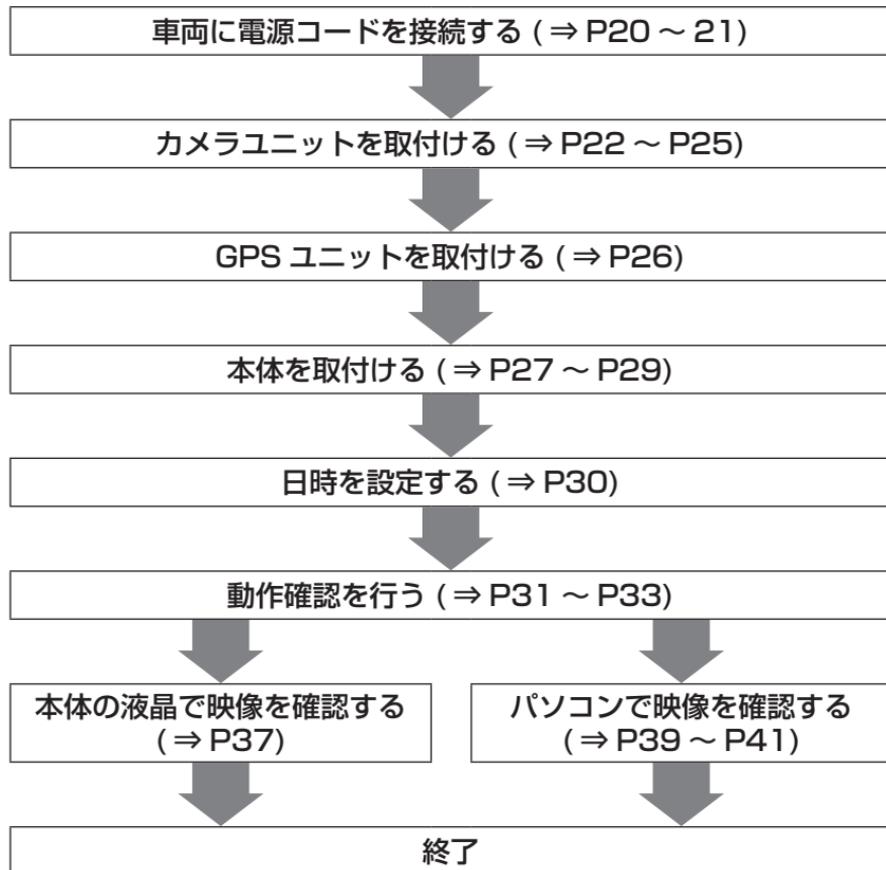
4) 最後に付属のクッションテープを巻いて接続部を保護します。



全体にクッションテープを巻いてください。

取付手順を確認する

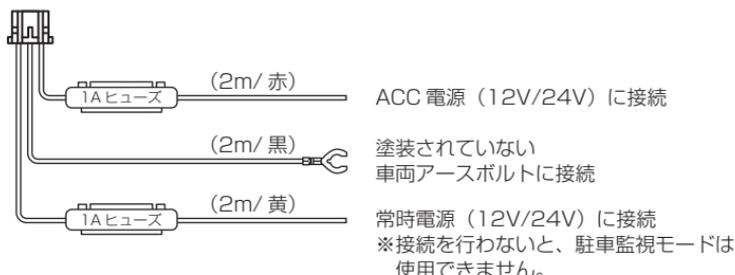
下記手順を参考に取付けを行なってください。



取付方法

電源コードを接続する

付属電源コードの各配線を車両の常時電源線・ACC電源線・車両アースボルトに接続します。

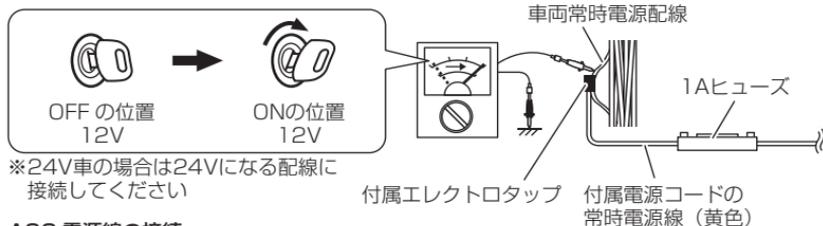


常時電源線 / ACC 線を接続する

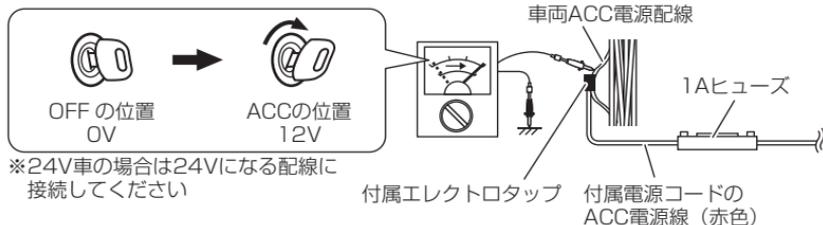
付属電源コードの常時電源 / ACC 電源線を車両の配線に付属のエレクトロタップで接続します。

※ ACC 電源線は OFF の位置で電圧が 0V にならない車両の場合、イグニッション電源へ接続してください。

常時電源線の接続



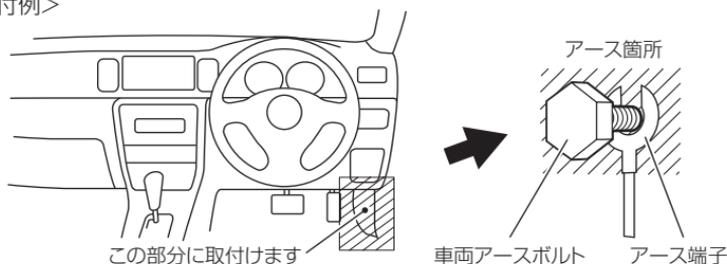
ACC 電源線の接続



アース線を接続する

付属電源コードのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

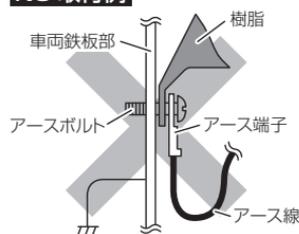
<取付例>



⚠ 注意

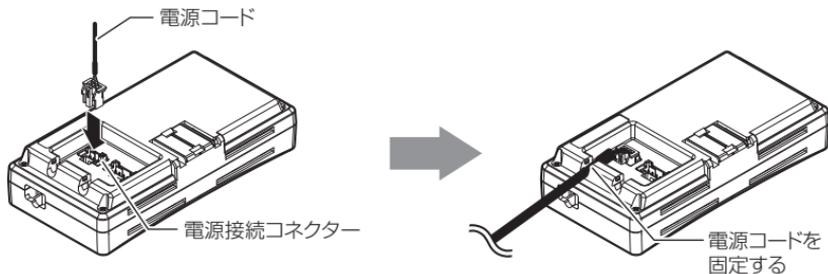
NG 取付例

- ・アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる（右図）と動作が不安定になることがあります。車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- ・アース箇所が塗装されている場合、塗装を剥がして接続を行なってください。



本体に電源コードを接続する

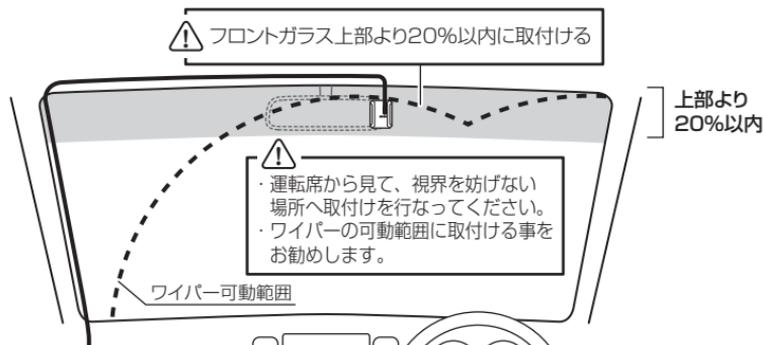
電源コードのコネクターを本体の電源接続コネクターに差し込んでください。



取付方法

カメラユニットの取付位置を確認する

本製品のカメラユニットを取付ける際は、保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。



⚠ 注意

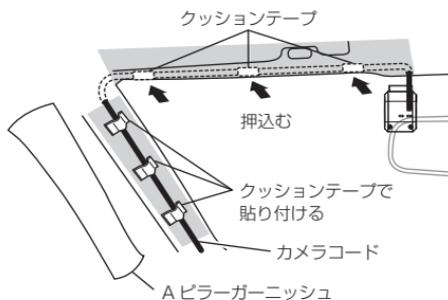
- ・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
※道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37
※コードクランプなどの貼付けも保安基準違反となるため、絶対に行わないでください。
- ・ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
※道路運送車両の保安基準第21条（運転者席）、細目告示第27条および別添29
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジや ETC 等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行なってください。
- ・カメラユニットの近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・カメラユニットを車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスやカメラユニットのレンズ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・カメラユニットの取付位置により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ず G センサー設定を見直してください。

カメラユニットを取付ける

- 1) カメラユニットの取付位置を確認し、仮固定および配線の取回しを行なってください。

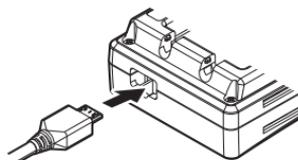
※運転の妨げにならないように、付属のクッションテープやコードクランプを使用し、配線の取回しを行なってください。

※地デジや ETC 等のコードと一緒に束ねないようにしてください。地デジや ETC 等の受信感度が低下する恐れがあります。



※保安基準違反となるため、フロントガラスへはクッションテープやコードクランプを貼らないでください。

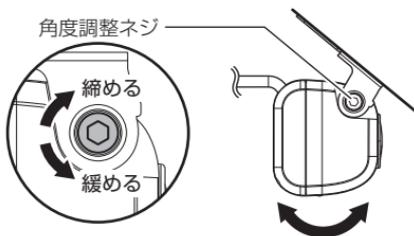
- 2) 本体へカメラユニットを接続します。



取付方法

3) ステーの角度調整ネジを緩めた状態で、カメラユニットの取付角度を調整します。調整後に角度調整ネジを締めます。

- ・本体液晶の映像を確認しながらカメラユニットが地面と垂直になるように角度を調整してください。
- ・角度調整を容易に行うため、取付ステーをフロントガラスへ完全に貼り付ける前に角度調整を行なってください。



⚠ 注意

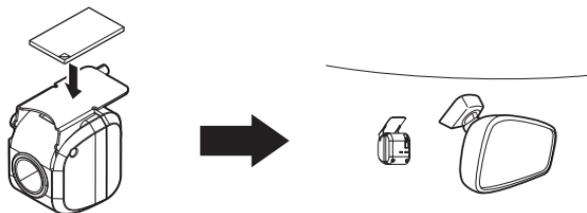
- ・必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れる恐れがあります。
- ・ステーの角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・定期的に角度調整ネジの緩みがないか点検を行なってください。

液晶の映像を確認しながら角度調整を行なっている際も、常時録画データやイベント録画データの記録を行なっているため、ご注意ください。

👉 アドバイス

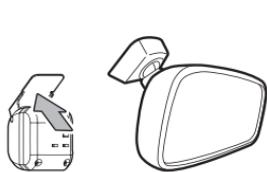
- ・撮影した映像が暗い場合はカメラ輝度調整の設定を変更するか、本製品を少し下向きになるように角度を調節してください。
- ・カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズれてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。

- 4) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーにカメラユニット固定用両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。

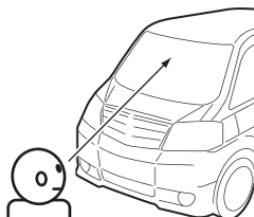


アドバイス

貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラがないようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがないことを確認してください。



ステー貼付け面を裏側から押さえる。



車外から貼付面にムラがないことを確認する。

◇ステー貼付け面



全体に貼付いている



気泡や色ムラがある

剥がれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・必ず付属の脱脂クリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。**パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。**剥がれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- ・一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付いていないと剥がれることがあります。

取付方法

GPS ユニットを取付ける

取付けの前に

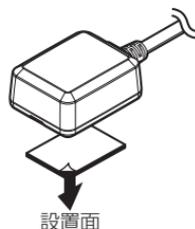
- 車両の機能（エアバッグや運転支援システムなど）に影響のない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

- 障害物がないので電波の受信ができる ✕ 車両ルーフによって電波が受信できない



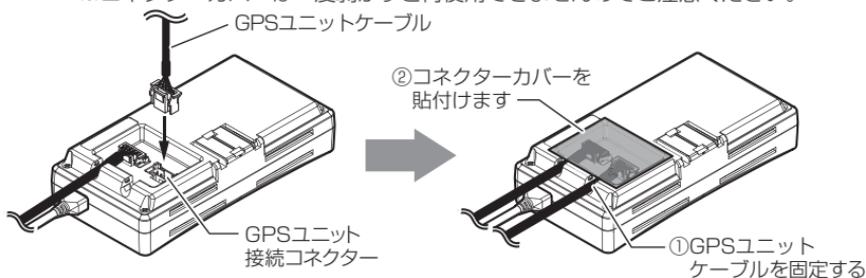
取付方法

- 1) GPS ユニット裏面に、付属のGPS ユニット固定用両面テープを貼付け、ダッシュボードに固定します。



- 2) 配線の取り回しを行い、本体へGPSユニットのコンネクターを接続後、コンネクターカバーを貼付けます。

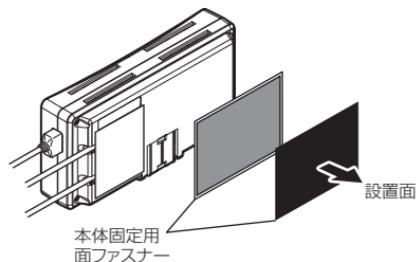
※コンネクターカバーは一度剥がすと再使用できませんのでご注意ください。



本体を取付ける

本体は裏面または下面に付属の本体固定用面ファスナーを貼付け、固定してください。

本体裏面を直接、設置面に取付ける場合

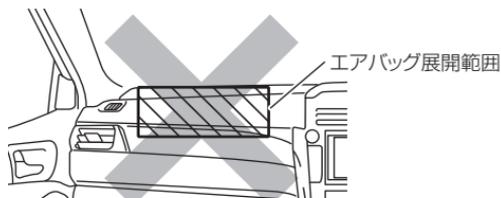


本体下面を直接、設置面に取付ける場合



⚠ 注意

- ・自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たる恐れがあります。

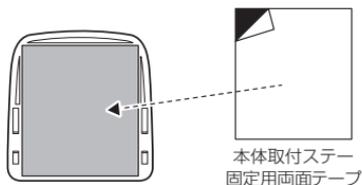


- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化等により本体固定用面ファスナーを剥がす際に貼付面が破損する恐れがありますのでご注意ください。

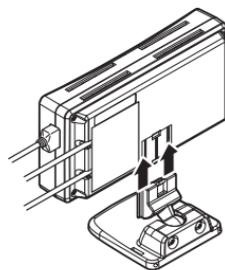
取付方法

本体取付ステーを使用して取付ける場合

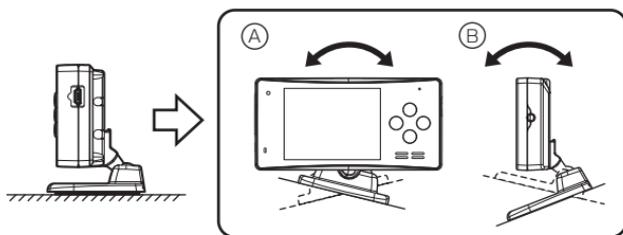
- 1) 本体取付ステーに付属の本体取付ステー固定用両面テープを貼付けます。



- 2) 本体裏面のステー取付穴に本体取付ステーを差し込み、「カチッ」と音がするまでスライドします。

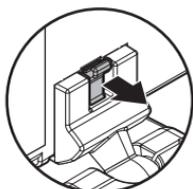


- 3) 濡れたタオルなどでダッシュボードを拭き、きれいにしてから固定します。下図①、②のように本体を見やすい角度に調整してください。

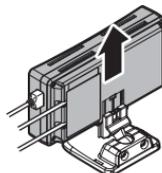


■本体取付ステーから本体を取外す場合

本体取付ステー裏側のロックを外しながら本体をスライドさせて取外します。



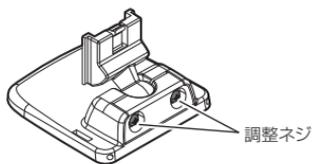
①ロックを外しながら



②本体をスライドさせて取外す

👉 アドバイス

本体取付ステーのジョイントが緩んだ場合は、ステー背面の調整ネジをプラスドライバーで左右均等に少しずつ締めてください。



取付方法

日時を設定する

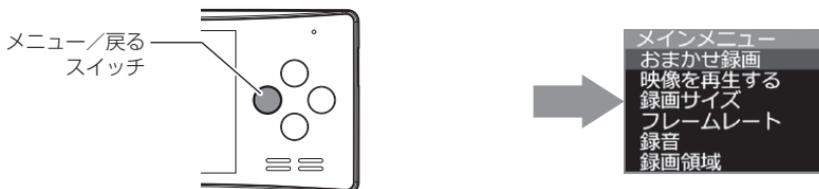
車両に本体を取付ける前に日時設定を行なってください。

アドバイス

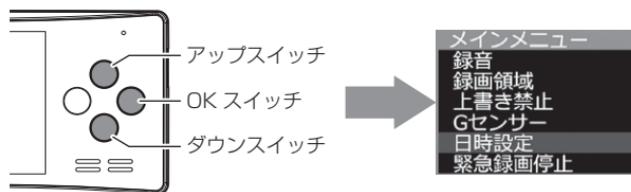
- ・GPS 衛星を受信すると自動的に日時を設定します。
- ・エンジン始動後、本製品の時刻情報とGPS 衛星からの時刻情報に1分以上のズレが生じている場合、自動的に時刻を補正します。
- ・GPS 衛星が受信しにくい場所では、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。

設定方法

- 1) 【メニュー/戻る】を**長押し**し、【メインメニュー】を表示する

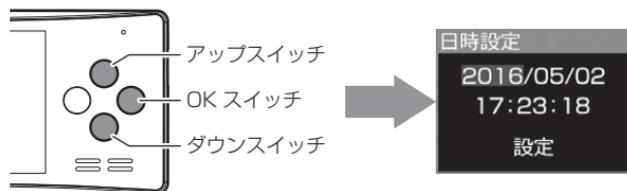


- 2) 【アップ】【ダウン】を押し【日時設定】を選択し、【OK】を押す



- 3) 【アップ】【ダウン】で設定し、【OK】で次の項目に移動します。日時変更後【設定】で【OK】を押す

※【設定】で【OK】を押した時点で日時が設定されます。



動作を確認する

1.GPS の受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、本体起動後、GPS を受信することを確認してください。

※ GPS を受信すると GPS アイコンおよび速度が表示され、本体の日時が設定されます。



アイコン	表示内容	GPS ユニット 接続状態
	GPS を受信時に表示	接続時
	GPS を未受信時に表示	
	GPS ユニット未接続時は非表示	非接続時

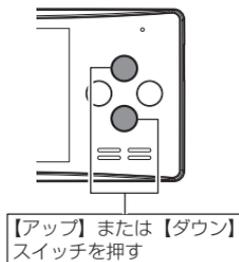
アドバイス

下記のような場所では、GPS を受信することができず、GPS アイコンの表示および速度の表示がされません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中など) その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

取付方法

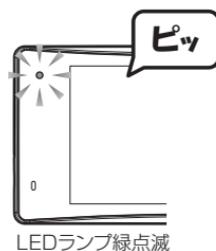
2. マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【アップ】または【ダウン】スイッチを押してください。



- 2) 『ピッ』と音が鳴り、LED ランプが緑点滅を始め、音声および録画データを記録します。

※音声は自動で録音されます。



👉 アドバイス

お買い上げ時の録音設定は [ON] になっています。設定で OFF にすることもできます。(⇒ P51)

3. 記録した映像を確認する

本体で記録した映像を確認してください。(⇒ P37)

《確認内容》

- ・『常時録画』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること
- ・『マニュアル録画』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること
- ・録画データに音声録音されていること

4. 内蔵バッテリーの充電を行う

映像を確認後、エンジンをかけて内蔵バッテリーの充電を行なってください。



エンジンをかける

👉 アドバイス

- ・商品出荷時には検査予備充電しかされていませんので、長期間充電しない状態が続くと内蔵バッテリーが自然放電している場合があります。約 1～2 時間程度の通電で満充電となります。
- ・本製品は本体温度が高温になると充電を停止します。

基本操作

電源を ON にする

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。



アドバイス

microSD カードチェック機能

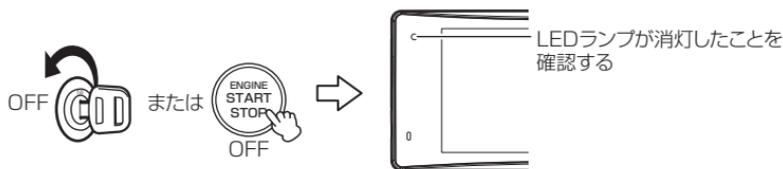
本製品では起動時に microSDHC カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※対処方法に関しては P63 を参照ください。

SDカードを
確認してください

電源を OFF にする

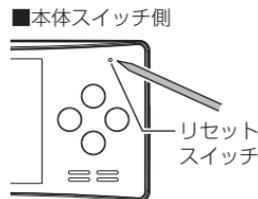
車両キースイッチを OFF にしてください。



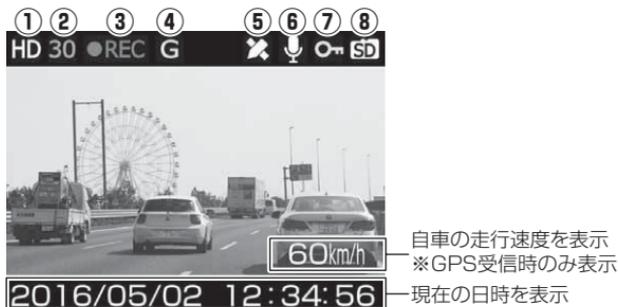
リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細い物で押して、本体システムを再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。



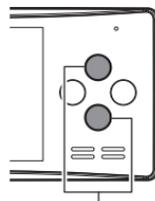
録画面面



アイコン	表示内容
① HDSD	録画サイズの設定を表示 (⇒ P51)
② 30 20 10	フレームレートの設定を表示 (⇒ P51)
③ ●REC	作動状態を表示
④ G M	衝撃録画中またはマニュアル録画中に表示
⑤	GPS の受信状態を表示 ※ GPS ユニット未接続時は非表示
⑥	音声録音の設定内容を表示 (⇒ P51)
⑦	上書き禁止の設定内容を表示 (⇒ P52)
⑧ SD SD	衝撃録画またはマニュアル録画の保存容量がいっぱいになった際に赤色で表示

■ マニュアル録画

録画中に本製品の【アップ】または【ダウン】スイッチを押すと、『マニュアル録画データ』として記録を行います。



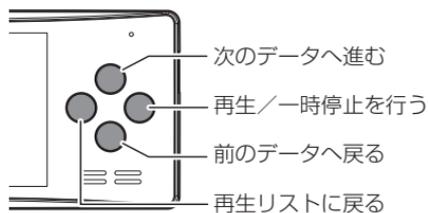
【アップ】または【ダウン】
スイッチを押す

基本操作

再生画面

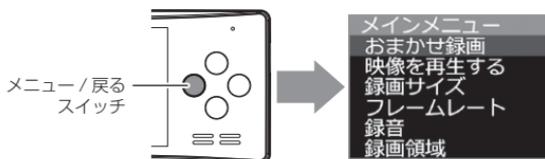


■再生画面での操作



本体で映像を再生する

1. 【メニュー/戻る】を長押しし、メインメニューを表示する

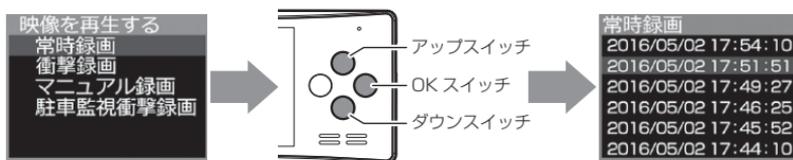


2. [映像を再生する]を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

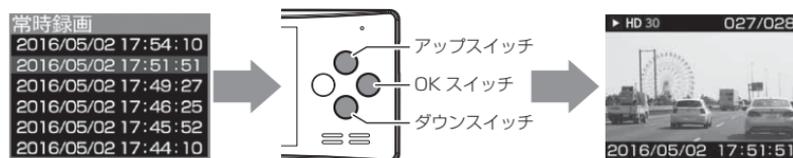


3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

- ・ [常時録画]..... 常時録画データおよび駐車監視モード中の常時録画データを表示
- ・ [衝撃録画]..... 衝撃検出による録画データを表示
- ・ [マニュアル録画]..... スイッチ操作による録画データを表示
- ・ [駐車監視衝撃録画]..... 駐車監視モード中の衝撃録画データを表示



4. 見たいファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと映像の再生が始まります



映像を見る

ナビゲーションで映像を再生する

本製品をビデオ入力端子を備えたナビゲーションや車載モニターと別売オプションの AV ケーブルで接続することで、本体の液晶表示をナビゲーションや車載モニターに表示させることができます。

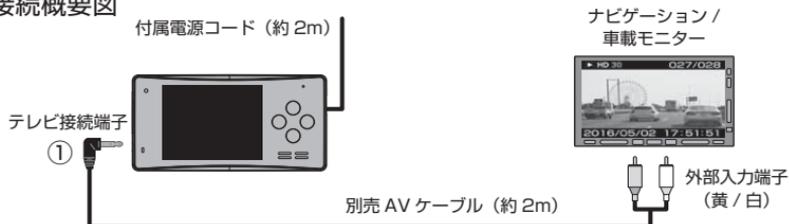
※ AV ケーブルを接続し車載モニターなどへ映像を出力した場合は、液晶表示設定 (⇒ P54) の設定内容にかかわらず車載モニターなどへ映像を表示します。

△ 注意

電源が ON の状態で AV ケーブルの抜き差しを行わないでください。起動中に行うと本体が再起動するなど、動作が不安定になります。必ず、電源 OFF 後 LED ランプが消灯したことを確認してから AV ケーブルの抜き差しを行ってください。

映像再生方法

■接続概要図



■再生方法

- 1) 車両電源を OFF にし、別売 AV ケーブルを本体のテレビ接続端子へ接続します。(上図 ①)
- 2) 車両電源を ON にします。
- 3) P37 の手順に従い、記録した映像を再生してください。
(接続したモニターへ映像が表示されます。※本体液晶画面の表示は行いません)

市販の AV ケーブルを使用する場合

本製品で使用出来る AV ケーブルの 4 極ミニプラグ端子の仕様は、下記のイラストのようになっています。

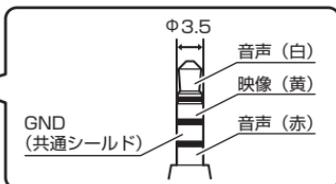
使用する際は必ず、下記仕様に沿った AV ケーブルを使用してください。

RCA 端子



※本製品はモノラル音声のため、音声 (赤) は使用しません。

4 極ミニプラグ端子



パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、付属 microSDHC カード内の専用ビューワソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。

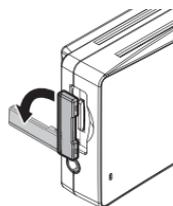
👉 アドバイス

- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS: 日本語版 Windows 7 / 8.1
CPU: Core 2 Duo プロセッサ 2.8GHz 同等以上を推奨
メモリー: 4GB 以上を推奨
画像解像度: FWXGA (1366 × 768 ピクセル) 以上を推奨
- ※ Internet Explorer がインストールされていないと正常に動作しない場合があります。

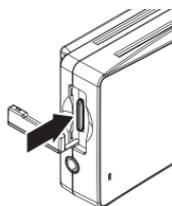
映像を再生する

1) 車両キースイッチを OFF 後、microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードのアクセスランプ(橙)が消灯したことを確認し、microSDHC カードを取り出します。

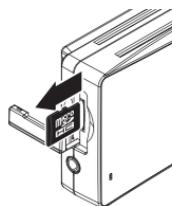
- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- ・ アクセスランプ点灯中に引き抜くと録画データが破損し、再生できない場合があります。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

映像を見る

2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ挿入します。

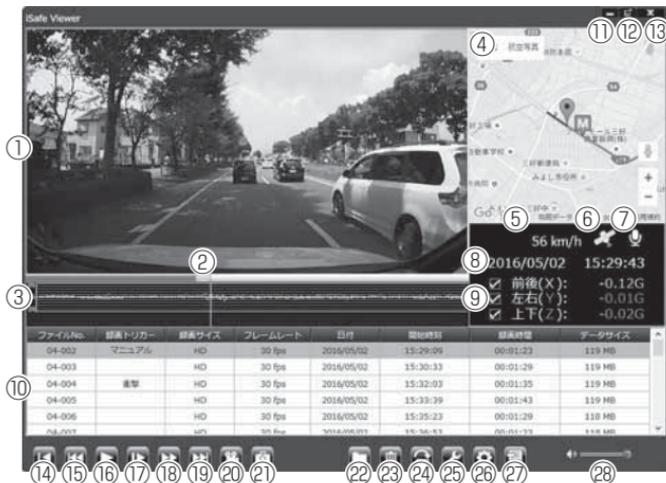
※ microSDHC カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識出来ません。



⚠ 注意

- microSDHC カードを取り出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- microSDHC カード内のデータを直接加工（切り取りや貼り付けなど）しないでください。データが正常に読み取れなくなる恐れがあります。

3) microSDHC カード内のビューソフトを起動し、再生したいファイルを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。



👉 アドバイス

- 本製品で microSDHC カードを初期化することで、自動でカード内にビューソフトを生成します。(⇒ P57)
- ビューソフト起動時、本製品のファームウェア更新データがある場合、更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ) その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、ファームウェアの更新を行なってください。

①	撮影動画を表示 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑩ 録画データのファイルリストを表示
	②	現在の再生位置を表示
③		加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線... 前後の加速度 (X 軸) 赤線... 左右の加速度 (Y 軸) 紫線... 上下の加速度 (Z 軸) 【G】... 衝撃を検出した場所 【M】... スイッチ操作を検出した場所 【P】... 駐車監視モード中に衝撃を検出した場所 【▲】... 急加速を検出した場所 【▼】... 急減速を検出した場所 【★】... 急ハンドルを検出した場所 【※】... 緊急録画停止を検出した場所
	⑬ 終了ボタン	
	⑭ 現在再生中の映像の先頭に戻る	
	⑮ 現在再生中の 1 つ前のファイルに戻る	
	⑯ 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる	
	⑰ 映像をコマ送りで再生する	
	⑱ 2 倍速または 4 倍速で早送り再生を行う ※押すたびに切替え	
	⑲ 現在再生中の 1 つ次のファイルに進む	
	⑳ 映像を動画データ (avi) に変換し保存する	
	㉑ 押した時点の映像を静止画 (jpeg) で 1 枚のみ保存する	
④	Google マップを表示 ※ GPS ユニット非接続時やインターネット非接続時はロゴを表示	⑳ 録画データの参照先を変更する
⑤	自車の走行速度を表示 ※ GPS 受信時のみ表示	㉒ ファイルリストで選択したデータを削除する
⑥	GPS の受信状態を表示	㉓ 再生中の映像を 180° 反転する
⑦	録画データの録音設定内容を表示	㉔ 破損した録画データの修復を行う
⑧	録画日時を表示	㉕ ビューワソフトの加速度グラフ設定やパスワードの設定などを行う
⑨	加速度を数値で表示 またチェックボックスの ON/OFF でグラフへの表示 / 非表示を選択	㉖ 録画データをリスト化し、CSV 形式で出力する
		㉗ ビューワソフトの音量を変更する

👉 アドバイス

⑩ ファイルリスト内の「録画トリガー」について

ビューワソフトでは録画種類を「録画トリガー」欄にて表示します。

表示内容	種類	表示内容	種類
—	常時録画データ	「衝撃」	衝撃録画データ
「マニュアル」	マニュアル録画データ	「駐車常時」	駐車監視モード中の常時録画データ
「駐車衝撃」	駐車監視モード中の衝撃録画データ	「破損」	破損した録画データ

⑳ CSV 出力について

録画データの [ファイル No./ 録画トリガー / 録画サイズ / フレームレート / 日付 / 開始時刻 / 録画時間 / データサイズ] をリスト化して出力します。

映像を見る

パソコンで録画データを保存 / 削除する

ビューワソフトの【動画】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データの連結または静止画で保存することができます。

また、【削除】ボタンを押すことで、録画データを選択して削除することもできます。

録画データを動画で保存する

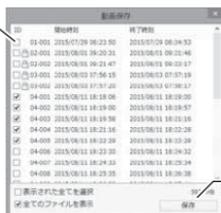
- 1) ビューワソフトの【動画】ボタンを押し、動画を保存するフォルダーを指定する。

※保存先は microSDHC カード以外の場所を指定してください。



- 2) 保存したいファイルにチェックマークを入れ【保存】ボタンを押す。

チェックマークを入れる



【保存】を押す

アドバイス

枝番号で連続したデータをまとめて保存すると、結合された 1 つの動画データが保存されます。

例) 09-001、09-002、09-003 を保存すると、1 つの動画データが保存され、01-001、02-001、03-001 を保存すると、3 つの動画データが保存されます。

録画データを静止画で保存する

- 1) ビューソフトの【静止画】ボタンを押し、保存するフォルダーを選択後、ファイル名を入力し、【保存】ボタンを押す。



録画データを削除する

- 1) ビューソフトの【削除】ボタンを押し削除したいファイルにチェックマークを入れ、【削除】ボタンを押す。



映像を見る

地図表示について

- Google マップはインターネット接続時および速度情報がある場合に表示されます。
- 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル検出・ドライブサポート検出の位置が表示されます。
- 加速度グラフ設定 (⇒ P47-①) でアイコンの表示・非表示を切替えることができます。



《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出アイコン		マニュアル録画検出アイコン
	急加速アイコン (ドライブサポート)		急ブレーキアイコン (ドライブサポート)
	急ハンドルアイコン (ドライブサポート)		緊急録画停止検出アイコン

👉 アドバイス

地図上の検出位置アイコンをクリックすると映像の再生位置がアイコンの場所に移動します。

※ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

保存ファイルを開く

- 1) ビューワソフトの【参照】ボタンを押します。



- 2) 参照先を指定することで、ドライブやフォルダーに保存した動画を見ることができます。



アドバイス

ビューワソフトで保存したデータ（avi ファイル）を参照する際は、【フォルダー】または【ファイル】を選択してください。本製品で初期化した microSDHC カードのみ、【SD カード】を選択してデータを確認することができます。

映像を見る

映像を 180° 反転する

ビューソフトの【反転】ボタンを押すことで映像を上下反転することができます。

- 1) ビューソフトの【反転】ボタンを押す。



録画データを修復する

本製品が正常に終了できなかった場合などに破損した録画データが保存されることがあります。その場合、ビューソフトの【リペア】ボタンを押すことにより、正常に再生できるように修復することができます。

※ リセットスイッチを押した際のデータは、必ず破損データになります。

※ 破損の程度により修復できない場合もあります。

- 1) ビューソフトの【リペア】ボタンを押す。



破損表示

- 2) 修復するファイルにチェックマークを入れ、【修復】ボタンを押す。

チェックマークを入れる



【修復】を押す

設定を変更する

ビューワソフトの【設定】ボタンより、加速度グラフの表示設定、SD カードの初期化やパスワードを設定または変更することが出来ます。



<p>① 加速度グラフ設定 チェックボックスを ON にすると、加速度グラフ上に各種検出アイコンを表示します。</p>	<p>④ SD カード設定 【SD カードの初期化】 microSDHC カード内の全てのデータが消去されます。</p>
<p>② バージョン情報 現在のビューワソフトのバージョンを表示します。</p>	<p>⑤ SD カード設定 【ファームウェアの更新】 ファームウェアをアップデートする際に使用します。</p>
<p>③ SD カード設定 【ドライブの選択】 SD カードのドライブを選択します。</p>	<p>⑥ パスワード設定 半角英数および「.」「-」「_」を8文字以内で入力します。</p>

👉 アドバイス

- ・ファームウェアの更新は弊社ホームページよりダウンロードを行なってください。
- ・パスワードを設定後、パスワードを忘れるとパソコンで映像を見ることができなくなります。忘れないようご注意ください。

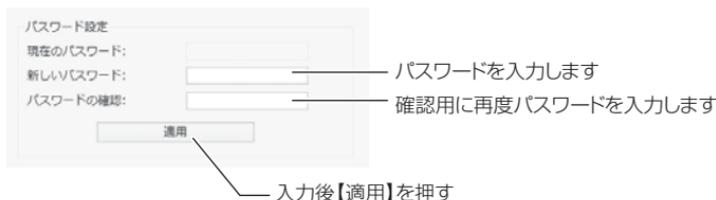
映像を見る

パスワードを設定する

パスワードを設定することで、プライバシーの保護や他人に録画データをビューワソフトで見られないようにセキュリティを強化することができます。

設定方法

- 1) 設定内のパスワード欄に半角英数および『.』『-』『_』を8文字以内で新しいパスワードと確認用パスワードを入力し登録します。



- 2) 次回ビューワソフト起動時より、登録したパスワードを入力しないと再生することができません。

🖱️ アドバイス

- ・ 誤ったパスワードを入力した場合は、再度入力を行なってください。
- ・ パスワードを設定した場合は、パスワードを忘れないように管理してください。
- ・ パスワードを忘れてしまった場合は、ビューワソフトの『SDカードの初期化 (⇒P47-④)』を行う、またはパソコンでSDカードのフォーマットを行うことで、使用することができます。ただし録画データも消去されます。

ファームウェアを更新する

弊社ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品およびビューワソフトのアップデートを行うことができます。

🖱️ アドバイス

- ・ 弊社ホームページに更新ソフトがある場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)
- ・ 更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新ソフトの準備がない場合、掲載はありません。

設定方法

本製品のシステム設定は、本体のメインメニューから変更を行うことができます。

設定画面での操作方法

例：フレームレートの設定を【30fps】に設定変更するには・・・

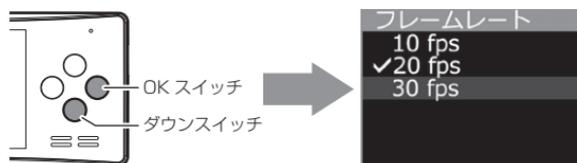
1. 【メニュー/戻る】を長押しし、[メインメニュー]を表示する



2. 【ダウン】を3回押しして【フレームレート】を選択し、【OK】を押す



3. 【ダウン】を1回押しして【30fps】を選択し、【OK】を押す



4. 【メニュー/戻る】を押し、設定モードを抜けると録画モードに戻ります
・続けて別項目を設定することもできます。



設定

設定内容一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
おまかせ録画	キレイ / ロング / おすすめ	—	
録画サイズ	HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)	HD (1280 × 720)	
フレームレート	10fps/20fps/30fps	20fps	
録音	OFF/ON	ON	
録画領域	20% ~ 85%	80%	5% 単位で設定可能
上書き禁止	OFF/ON	OFF	
G センサー	OFF/0.1G ~ 1.0G	0.6G	左右 / 前後 / 上下それぞれ設定可能
日時設定	年月日 時分秒	—	詳細設定については P30 を参照
緊急録画停止	OFF/1.1G ~ 2.0G	1.5G	
カメラ輝度調整	明るい / 標準 / 暗い	標準	
カメラ上下反転	標準 / 反転	標準	
液晶明るさ	明るい / 標準 / 暗い	標準	
液晶表示	OFF / 速度連動 / ON	速度連動	詳細設定については P54 を参照
液晶上下反転	標準 / 反転	標準	
ドライブサポート	OFF / アラーム / 音声	OFF	
本体音量	OFF / 1 ~ 10	5	
駐車監視モード	OFF / 手動 / 自動	OFF	詳細設定については P56 を参照
設定の初期化	—	—	
SD カードの初期化	—	—	
工場出荷状態に戻す	—	—	
Ver 情報	—	—	

おまかせ録画設定

- ・【録画サイズ】および【フレームレート】の設定を一括で簡単に変更することができます。
- ・設定は [キレイ / ロング / おすすめ] から選択できます。

■設定内容

設定	キレイ	ロング	おすすめ
録画サイズ	HD	SD	HD
フレームレート	30fps	10fps	20fps

録画サイズ設定

- ・記録する映像サイズを [HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【HD (1280 × 720)】に設定されています。

フレームレート設定

- ・記録する映像のフレームレートを [10fps/20fps/30fps] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【20fps】に設定されています。

👉アドバイス

フレームレートとは1秒あたりの記録枚数を表しており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいほど映像が滑らかに再生されます。

録音設定

- ・記録する映像に音声の録音を行うかの [OFF/ON] を設定できます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

👉アドバイス

- ・録画中に【OK】スイッチを押すことで、録音設定のON/OFFを一時的に切替えることができます。
- ・【OK】スイッチ操作により設定を切替えたあと、再起動やメインメニューに入る、緊急録画停止機能が作動するなどの場合、本設定で選択した設定に戻ります。

設定

録画領域設定

- ・常時録画のデータ保存容量の割合を [20%～85%] の間の5%単位で変更することができます。(⇒P17)
- ・録画領域の設定を変更すると、イベント録画(衝撃録画およびマニュアル録画)のデータ保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・お買い上げ時の常時録画領域の割合は【80%】に設定されています。
 - ※ 衝撃録画/マニュアル録画データがない場合は100%常時録画を記録します。
 - ※ 駐車監視モード中の常時録画および衝撃録画データも、通常の常時録画および衝撃録画データに含まれます。
 - ※ 使用中に録画領域を変更すると、変更前に記録されたすべての録画データが常時録画データに切替わります。

アドバイス

初期設定では microSDHC カード全体の80%を常時録画、20%をイベント録画(衝撃録画/マニュアル録画)の領域として設定されています。

上書き禁止設定

- ・衝撃を検出した時やスイッチを押した時の録画データが最大件数になった時に、古いデータから上書きを行うかの [OFF/ON] を設定できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

アドバイス

[ON] に設定した状態で最大件数を超過して録画しようとするとう書き禁止のエラーが表示され、液晶画面右上のSDマークが赤に変わります。

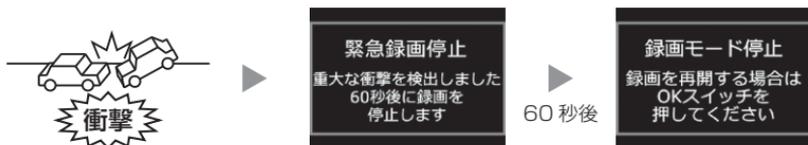
- ・常時録画は上書き設定がありません。常時録画データは容量がいっぱいになった場合、常に古いデータから上書きして新しいデータを記録します。

G センサー設定

- ・衝撃を検出する感度を前後・左右・上下のそれぞれ [OFF/0.1G (敏感)～1.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・[OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・お買い上げ時は【0.6G】に設定されています。運転状況に合わせて調整ください

緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 60 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
- ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF/1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【1.5G】に設定されています。



⚠ 注意

- ・強い衝撃を検出し、録画が停止するまでの 60 秒の間に設定メニューに入る、microSDHC カードを抜く、その他エラー表示が出た場合は本機能による録画の停止は行われません。ご注意ください。
- ・緊急録画停止中は駐車監視モードに移行しません。

👉 アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

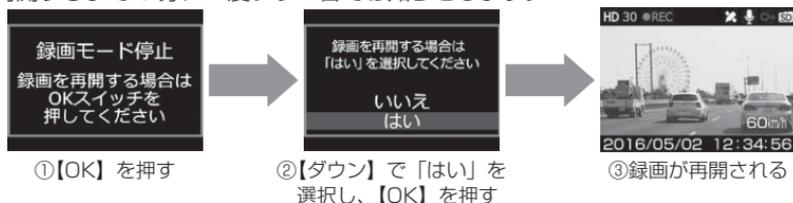
そのため事故後 microSDHC カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場での修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。

万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし、microSDHC カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

■録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。

※ 再開するまで 3 分に一度ブザー音でお知らせします。



設定

カメラ輝度調整設定

- ・撮影映像の明るさを[明るい/標準/暗い]から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

カメラ上下反転設定

- ・カメラの上下方向を[標準/反転]から選択することができます。
- ・【反転】に設定することでダッシュボードなどへ取付けることができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

液晶明るさ設定

- ・液晶ディスプレイの明るさを[明るい/標準/暗い]から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

液晶表示設定

- ・録画モード中の液晶ディスプレイの表示時間を [OFF/ 速度連動 / ON] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【速度連動】に設定されています。

■設定内容

- [OFF]液晶ディスプレイの表示を行いません。停車中に【メニュー/戻る】スイッチを押した時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
- [速度連動]起動後速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切替わります。停車後も非表示のままとなりますが、【メニュー/戻る】スイッチまたは【OK】スイッチを押すことにより、次回 10km/h 以上で走行するまでの間、表示を行います。
- [ON]液晶ディスプレイを常に表示します。

👉 アドバイス

速度連動設定について

- ・起動時は液晶ディスプレイを常に表示します。ただし GPS ユニットが未接続の場合は、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
- ・速度 10km/h 以上で走行し液晶ディスプレイが消灯する際は、メッセージ画面を表示し、消灯します。また走行中に【メニュー/戻る】スイッチを押した際もメッセージ画面を表示し、消灯します。

走行中は液晶表示を
OFFにします

液晶上下反転設定

- ・液晶表示の上下方向を [標準 / 反転] から選択することができます。
- ・【反転】に設定すると【アップ】【ダウン】スイッチの操作も反転します。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

ドライブサポート設定

- ・【アラーム】または【音声】に設定すると、急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出時に、アラーム音または音声でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動して ON になります。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。
- ※ G センサーの設定が 0.3G 以下の場合はお知らせしません。
- ※ 自車の走行速度が 30km/h 未満の場合は、急ハンドル時のアナウンスを行いません。

■【音声】設定時のアナウンス内容

運転状況	アナウンス内容
急加速時	チャイム音♪ 急発進を検知しました。
急減速時	チャイム音♪ 急ブレーキを検知しました。
急ハンドル時	チャイム音♪ 急ハンドルを検知しました。

- ※【アラーム】設定時は効果音のみでお知らせします。

👉 アドバイス

- ・G センサーの設定に応じて検出レベルが変化します。
- ・アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。

◇長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

- ※ ドライブサポート機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になりました。そろそろ休憩してください。」

本体音量設定

- ・本体の確認音や再生時の音量を [OFF/1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【5】に設定されています。

設定

駐車監視モード設定

- ・ 駐車監視モードを設定することで、電源 OFF 後も記録を行う「駐車監視モード」が作動します。駐車監視モードの動作に関しては P58 を参照ください。
- ・ 駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点や【OK】スイッチを押すことで終了させることができます。
- ・ 設定電圧以下になった際や OFF タイマー設定時間経過後、または衝撃を検出した際にも駐車監視モードは終了します。詳しくは下記「駐車監視詳細設定」をご確認ください。
- ・ お買い上げ時は【OFF】に設定されています。
[OFF] 駐車監視モードに移行しません。
[手動] 本体の電源が OFF 後、5 秒以内に【OK】スイッチを押すことで駐車監視モードに移行します。
[自動] 本体の電源が OFF 後、自動的に駐車監視モードに移行します。
- ・ 駐車監視モード作動時は本体およびカメラユニットの LED が下記点滅を繰り返します。

状態	本体 LED	カメラユニット LED
駐車監視モード作動中	緑 3 回点滅	赤ゆっくり点滅
駐車監視モード作動中に 衝撃を検出	緑点滅	
降車キャンセルタイマー中	橙 3 回点滅	赤点灯

■ 駐車監視詳細設定

駐車監視モードの動作詳細を設定することができます。

項目	設定内容	初期設定	備考
停止電圧	12V 車両 11.7V ~ 12.2V (0.1V 単位で設定)	12.2V	・ 車両バッテリーの電圧が、設定電圧を下回ると駐車監視モードを終了します。 ・ 車両電圧を認識し、自動で 12V/24V を切替えます。
	24V 車両 23.4V ~ 24.4V (0.2V 単位で設定)	24.4V	
OFF タイマー	30 分 / 1 ~ 12 時間 / OFF	1 時間	設定時間経過後、駐車監視モードを終了します。
衝撃録画停止	ON/OFF	ON	ON に設定すると上書き防止のため衝撃検出後に録画を停止します。
衝撃感度	高感度 / 中感度 / 低感度	中感度	駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を設定します。
録画サイズ	HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)	HD (1280 × 720)	駐車監視モードでの記録内容を設定します。
録音	OFF/ON	ON	
降車キャンセル	1 分 / 2 分	1 分	衝撃検出を無効にする時間を設定します。

設定の初期化

本製品の設定情報のみを初期化します。

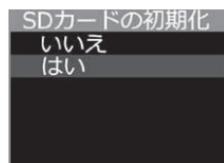
※ 設定の初期化を行うと、初期化前に記録されたすべての録画データが常時録画データに切替わります。

SDカードの初期化（映像データの消去）

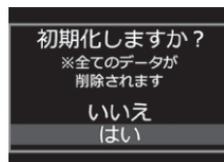
- ・microSDHC カードの映像データを消去し初期化を行います。（初期化を行っても本体の設定情報は保持されます）
- ・新しいmicroSDHC カードや付属以外のmicroSDHC カードを使用する場合は、必ずSDカードの初期化を行なってください。
- ※ microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。映像データが必要な場合は、必ず事前にバックアップを行なってください。
- ※ 安定してご使用いただくため、定期的に初期化することをおすすめします。

■初期化方法

1) 【ダウン】で [はい] を選択し、【OK】を押す



2) 【ダウン】で [はい] を選択し、【OK】でmicroSDHC カードが初期化されます



工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。

⚠ 注意

消去したデータを復元することはできません。

👉 アドバイス

[SDカードの初期化] または [工場出荷状態に戻す] を行うことで、自動でmicroSDHCカード内にビューワソフトを再生成します。

Ver 情報

本製品のソフトウェアバージョンを表示します。

付 録

駐車監視モード中の動作について

駐車監視モード中は通常時と一部動作が異なります。下記内容をご確認ください。

- 液晶表示設定を [ON] (常時点灯) に設定していても、駐車監視モード時は液晶表示は消灯します。
- 駐車監視モード中のフレームレート設定は 5fps 固定となります。
- 降車キャンセル設定時間内は、降車時の振動や衝撃による記録を行いません。
- 駐車監視モード作動時は設定モードに入ることはできません。
- 駐車監視モード中に乗車するとその際の衝撃により記録を行う場合がありますのでご注意ください。

⚠ 注意

- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

駐車監視モードでの記録時間の目安

録画サイズ	フレームレート (5fps 固定)	microSDHC カード容量			
		4GB	8GB	16GB	32GB
HD	5fps	約 170 分	約 340 分	約 680 分	約 1360 分
SD	5fps	約 420 分	約 840 分	約 1680 分	約 3360 分

※ 太枠は付属 microSDHC カードを示します。

※ 上記の記録時間はあくまで参考値です。映像の明暗により記録時間は異なります。

※ 記録上限に達した場合、走行中の映像を含めた古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

駐車監視モード中に衝撃を検出した場合

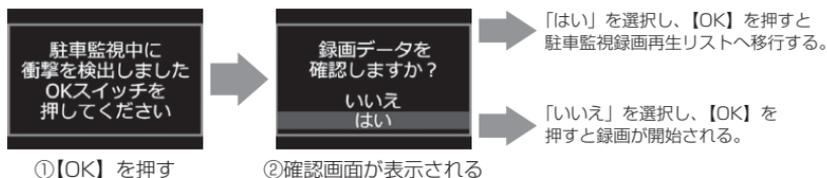
本製品の初期設定では駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、録画データが上書きされないように、検出した時点より5分後に駐車監視モードを終了します。

※駐車監視詳細設定(⇒P56)内の[衝撃録画停止]設定を【OFF】に設定すると、衝撃があっても駐車監視モードは終了せず、録画を継続します。



アドバイス

衝撃を検出し駐車監視モードを終了した場合、次回起動時に液晶画面にメッセージを表示し、駐車監視モード中に衝撃があったことをお知らせします。またその画面から直接、駐車監視録画再生リスト画面へ移行することもできます。



※上記画面表示中は録画は行われません。また上記画面表示中は、初めの1分は10秒ごとにブザー音でお知らせし、その後3分ごとにブザー音でお知らせします。

※衝撃録画データを保存中にエンジンをON(車両キースイッチをACCまたはON)にした場合は、メッセージの表示を行いません。

付 録

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。	参照ページ
LED ランプが点灯しない。	●電源コードのヒューズが切れていませんか？ ●電源コードが接触不良や断線などしていませんか？	18 ページ 20,21 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	●ビューソフトを使用してパソコンで選択したファイルを削除することができます。	43 ページ
事故の衝撃映像が保存されていない。	●事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。	—
バックアップ機能で映像が記録されない。	●内蔵バッテリーの充電が不十分であったり、内蔵バッテリーの寿命の可能性があります。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	●[録画サイズ]および[フレームレート]の設定を変更することで記録時間を変更することができます。	16,51 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	●microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。 ●衝撃録画データおよびマニュアル録画データは上書き禁止設定を[ON]に設定しているとエラーが表示され、上書きされません。録画を再開するにはビューソフトで不要なデータを削除するか、上書き禁止設定を[OFF]に設定してください。	14 ページ 52 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	●microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度走行する場合で約2～3年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況によりmicroSDHCカードの寿命は短くなります。	8 ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	●microSDHC カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ●必要な映像をパソコンへ保存してから、本体でmicroSDHCカードの初期化を行なってください。	6 ページ 8 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	—
microSDHC カードがパソコンで認識されない	●お使いのSDカードリーダーはSDHCに対応していますか？付属のカードはmicroSDHCカードとなっているため、SDHCに対応している必要があります。	—

駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も常時録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも[OFFタイマー]設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が[停止電圧] 設定以下になると、駐車監視モードを終了します。
また駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、検出した時点より 5 分後に駐車監視モードを終了します。※終了しないように設定することもできます(⇒P56,59)

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. 駐車監視録画設定が [手動※] または [自動] に設定されていることをご確認ください。
※ [手動] 設定の場合、電源 OFF 後 5 秒以内に【OK】スイッチを押す必要があります。
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、駐車監視モード停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両バッテリーの電圧が [停止電圧] 設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
3. 夏場など、本体の使用温度範囲を超えている状態では駐車監視モードへ移行しません
4. 付属電源コードの常時電源線を、車両 ACC 線へ接続していたり、未接続だと駐車監視モードへは移行しません。

Q. 駐車監視モードを使用せず、走行中のみ録画したい

- A. 駐車監視録画設定を [OFF] に設定するか、付属電源コードの常時電源線の接続を行わないでください。

Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

- A. 駐車監視モード作動中は本体およびカメラユニットの LED が下記点滅を繰り返します。

状態	本体 LED	カメラユニット LED
駐車監視モード作動中	緑 3 回点滅	赤ゆっくり点滅
駐車監視モード作動中に 衝撃を検出	緑点滅	
降車キャンセルタイマー中	橙 3 回点滅	赤点灯

Q. 後方、側方の映像も録画しますか？

- A. カメラの向いている方向のみの録画となります。

付 録

LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です。

■本体 LED 表示

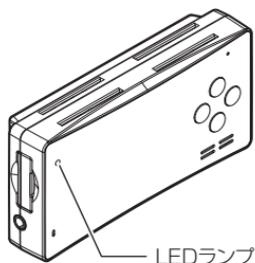
LED ランプ表示	本体動作	内容
緑点灯	録画中	録画中
緑点滅	録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯	録画停止	設定モード中
橙点滅	録画停止	エラー表示または緊急録画停止中
緑・橙交互点滅	録画停止	電源 OFF 処理中
駐車監視モード時		
緑 3 回点滅	監視中	駐車監視モード動作中
橙 3 回点滅	録画停止	降車キャンセルタイマー中
緑点滅	録画中	衝撃録画中

■カメラユニット LED 表示（駐車監視モード中のみ動作）

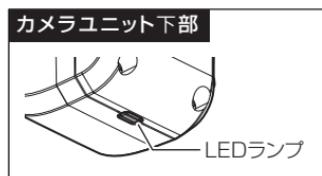
LED ランプ表示	本体動作	内容
赤ゆっくり点滅	監視中	駐車監視モード動作中
赤点灯	録画停止	降車キャンセルタイマー中

本体およびカメラユニットの LED 位置

■本体



■カメラユニット



エラー確認表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
SD カードが挿入されていません	電源を OFF 後 microSDHC カードを挿入し、再起動してください。
SD カードを確認してください	microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜き、端子部が汚れていないか確認後、microSDHC カードを挿入し再起動してください。症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行い、お試しください。それでも改善されない場合は microSDHC カードの寿命が考えられるため、microSDHC カードの交換をおすすめします。
SD カードの初期化を行なってください	新しい microSDHC カードや本体で読み込みができない時に表示されます。microSDHC カードを本体で初期化してください。
内蔵バッテリーの電圧が低下しています 充電を行なってください	内蔵バッテリーの充電が不十分な場合やリセットスイッチを3回押した際に表示されます。内蔵バッテリーの充電を行ってもエラーが解除されない場合、内蔵バッテリーの交換が必要です。交換する際は購入された販売店へご相談ください。
高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します	本体の使用温度範囲を超えているため、正常に録画できないことが考えられます。夏場などはしばらく時間を置いて車内の温度が下がってからご使用ください。
上書き禁止 イベント録画がいっぱいです	上書き禁止設定を [ON] に設定した状態で、microSDHC カードの容量を超えて録画しようとした際に出るエラーです。上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、パソコンで録画データを消去してください。
リセットスイッチを押して再起動してください	リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談ください。
カメラケーブルが接続されていません	カメラユニットと本体が正常に通信されていないことが考えられます。カメラユニットのケーブルが本体へ確実に接続されていることをご確認ください。

※ エラーの際は上記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

付 録

製品仕様

電源電圧	12V/24V	
平均消費電流	350mA 以下 ※駐車監視モード中：300mA 以下	
動作温度範囲	-10℃～60℃	
カメラ	撮像素子	1/3 型 CMOS センサー
	総画素数	120 万画素
	有効画素数	最大 100 万画素
	レンズ画角	水平 102° 垂直 73° (対角 138°)
	F 値	F1.8
	レンズ材質	ガラス
最低照度	2LUX	
記録映像サイズ	HD (1280 × 720) SD (640 × 360)	
GPS	あり	
G センサー	あり (0.1G～1.0G：0.1G 単位で設定可)	
記録方式	常時録画/イベント録画/マニュアル録画 (手動録画) / 駐車監視録画	
録画ファイル構成	約 120MB 単位	
音声録音	ON/OFF 可能	
フレームレート	10fps/20fps/30fps ※駐車監視モード時は 5fps 固定	
映像ファイル形式	AVI(MJPEG) ※ビューワソフトにて AVI に出力	
記録映像再生方法	専用ビューワソフト ※ Windows7/8.1 専用 ビデオ出力 (別売：AV ケーブル) 本体液晶	
記録媒体	microSDHC カード (付属：8GB/class10) 4GB～32GB 対応 class10 以上推奨	
液晶サイズ/液晶解像度	2.5 インチフルカラー TFT 液晶 / 320 × 240	
本体サイズ	100 (W) × 50 (H) × 23 (D) /mm (突起部除く)	
本体重量	80g	
カメラユニットサイズ	29 (W) × 37 (H) × 34.8 (D) /mm 取付ステー装着時： 29 (W) × 44 (H) × 40.8 (D) /mm (取付ステー水平時)	
カメラユニット重量	97g (ケーブル含む)	
GPS ユニットサイズ	33 (W) × 24 (H) × 14 (D) /mm	
GPS ユニット重量	55g (ケーブル含む)	

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

■カメラ画角イメージ

